

CEDI-WGの活動報告

2023年5月23日
CEDI-WG

CEDI-WGの活動報告

1. CEDI-WGのミッション
2. CEDI-WG 2022年度の活動報告
 - 2024年問題対応状況や適格請求書等保存方式に関するアンケート状況
 - 技術仕様適合認定制度への申請
 - OAGiミーティングのご報告
 - 標準書（第3版、第4版）の作成について
 - EDI入門セミナー、CEDI/ITフォーラムの開催
3. CEDI-WG 2023年度の活動計画

参考資料（別紙）

1. CEDIから提供可能なEDI仕様文書

1. CEDI-WGのミッション

■ 石化協EDI標準(Chem eStandardsとJPCA-BP)の維持管理

- ・石化協EDI標準の維持管理(標準を利用している企業からの標準改定要請対応)
- ・EDI環境変化への対応
- ・CEDIから提供可能なEDI仕様文書の管理

■ 標準遵守意識の喚起・向上

- ・CEDI/ITフォーラム 及び EDI入門セミナー の開催

2. CEDI-WG 2022年度の活動報告

昨年度と同様に、今年度もCEDI/ITフォーラムを本日2023/5/23に実施、EDI入門セミナーを2023年6月頃に実施を予定しております。今年度のCEDI-WG会合は11回開催しましたが、何れもリアル&Teams或いはTeamsのみでの実施となりました。

(開催日は7/12,8/9,9/13,10/11,11/8,12/13,1/10,2/14,3/14,4/11,5/16)

■石化協EDI標準(Chem eStandardsとJPCA-BP)の維持管理

「EDI環境変化への対応」としての活動

①2024年問題対応状況や適格請求書等保存方式に関するアンケート状況

2023年2月に、「PSTNのIP網化対応」及び「適格請求書等保存方式対応」に関するCEDI-WG参加メンバー各社における対応状況について、昨年引き続きアンケートを実施し、進捗状況を確認しました。

※この後、NTT東日本様から、IP網移行の現状についてご講演いただく予定です

※石化協としましては、PSTNのIP網化対応に向けて、他業界の対応状況を収集するために、JiEDIA(※1)の運営委員会に参加しています。

※1 JiEDIA : インターネットEDI普及推進協議会

2. CEDI-WG 2022年度の活動報告

■ アンケートの目的：

昨年4月にもCEDI-WG内で調査しましたが、その後の進展も含め再度調査を行いました。 ※2023年2月の結果のためその後の進展等進捗はしている状況

適格請求書等保存方式対応状況（CEDI-WGメンバー内）

A	対応方針を決定し具体的な対応も完了している。	0
B	対応方針を決定し具体的な対応の最中である。	7
C	対応方針を決定している。具体的な対応はこれから進める。	1
D	対応方針を検討中。	2
E	未着手。	0

PSTNのIP網化対応状況（CEDI-WGメンバー内）

接続先種別	想定する主なメッセージ	接続相手数			要対応相手の対応状況（％）（概数で結構です）				
		要対応 (JCPA-BP等) EDI以外への切替も含む	対応不要 (Chem eStandards等)	計 (接続会社総数)	移行済み	移行中 (取引先との 交渉を含めた 作業中)	移行予定 (まだ具体的 な作業は していない)	未着手	計
商社	契約／受発注／出荷／請求等	138 (129)	35 (0)	173 (129)	77% (60%)	19% (18%)	5% (23%)	0%	100%
化学	受発注／出荷／納入／検査等	14 (24)	13 (18)	27 (42)	72% (42%)	28% (25%)	0% (33%)	0%	100%
倉庫	出荷指示・報告／在庫等	90 (84)	0 (0)	90 (84)	73% (62%)	13% (14%)	13% (24%)	0%	100%
その他	(生産関連等)	26 (52)	0 (1)	26 (53)	74% (32%)	22% (14%)	4% (54%)	0%	100%
計		268 (289)	48 (19)	316 (308)	75% (54%)	18% (17%)	7% (30%)	0%	100%

2. CEDI-WG 2022年度の活動報告

■ 残課題

- 接続方式に関して、双方の設備や送受信の起動を含めた調整が必要である事が判明した。双方で検討・対処に時間を要するため、事前に留意点等情報があれば良かったと思われる。
- VAN会社を経由している際に、VAN会社の切替対応時間が就業時間内制約があり、伝送時間外を想定している場合、業務調整を含め実施する必要がある。

②技術仕様適合認定制度への申請（EDIサービス事業者のサービス認定）

技術仕様適合認定の審査で、更新7ソリューションと新規1ソリューション（TOKAI コミュニケーションズ様）がいずれも認定されました。

2. CEDI-WG 2022年度の活動報告

石化協認定のEDIサービス事業者のサービス一覧

■ 認定制度への申請状況および、認定状況

2023年5月23日時点では、以下の4社8ソリューションが合格となり、2023年6月1日からCEDIサイトに企業名、ソリューション名を公開する予定であります。

認定ソリューション一覧

認定 番号	事業者名	ソリューション名		有効期限
		EDIパッケージソフトウェア名	もしくは EDIサービス名	
CEDI-002	株式会社データ・アプリケーション	ACMS Apex（エーシーエムエス エイペックス）		2024年5月31日
CEDI-003	株式会社データ・アプリケーション	ACMS B2B（エーシーエムエス ビートゥービー）		
CEDI-004	株式会社データ・アプリケーション	ACMS Lite Neo（エーシーエムエス ライトネオ）		
CEDI-005	株式会社データ・アプリケーション	ACMS/WS（エーシーエムエス ダブルエス）		
CEDI-006	株式会社オーグス総研	eCubenetサービス		
CEDI-007	株式会社インテック	EDIアウトソーシングサービス（EINS/EDI-Hub Nex）		
CEDI-008	株式会社TOKAIコミュニケーションズ	JFT/Server（ジェイエフティー サーバー）		
CEDI-009	株式会社TOKAIコミュニケーションズ	JFT/Lite Net（ジェイエフティー ライトネット）		

(掲載イメージ)

③OAGiミーティングのご報告

2022年12月15日（木）に、OAGiのJim Wilson氏が石化協を来訪、情報交換実施。

■ OAGi (Open Applications Group, Incorporated) とは

- NIST（米国標準技術研究所）の出資を受け、1995年に設立された標準開発NPOである。
- OAGIS（標準）、SCORE（多くの標準ドキュメントを関連付けて検索できるツール）を開発、運用している。

■ Jim Wilson氏の職務

- OAGiのCEOであり、AgGatewayのCTO
- OAGiとしてIndustrial Ontologies Foundryの議長として、また、ISO技術委員会（154）にも深く関わっている。
- AgGatewayのCTOとしては、ISO Strategic Groupe on Smart Farmingに所属し、技術アドバイザーGの議長を務め、またANSIから米国のエキスパートとして指名されている。

CEDI-WGの活動内容（適格請求書等保存方式への対応状況、各化学会社、EDIサービスプロバイダーとの個別ヒアリング状況、標準遵守意識の喚起・向上活動）を報告。

「CEDIから提供可能なEDI仕様文書の管理」としての活動

①標準書（第3版、第4版）の作成について

『石油化学工業協会ビジネスプロトコル（JPCA-BP）標準書』の改定を行いました。
第3版では適格請求書等保存方式導入に伴う改訂、第4版では第3版で気付いた点、古い表現等を見直し、テクニカルレポートも更新しました。

■ 標準遵守意識の喚起・向上

① EDI入門セミナーの開催

EDI業務初心者向けのセミナーを、（入社や異動の時期を考慮して）例年6～7月頃に開催しており、今年度も2023年6月27日に開催予定。

《参考》 昨年（2022/6/21開催）

参加者数：22名（2020年度：17名、2019年度：20名）

主なご意見：概要から実際の利用方法までのイメージが湧き、有意義な会であった
化学業界でのメッセージ種別・業務フローを知ることができた
化学業界におけるEDI標準の歴史・概要が理解できた
JPCA-BP、CeSにて具体的にやり取りされるメッセージが理解しきれなかった
...

② CEDI/ITフォーラムの開催（2023/5/23実施）

CEDI-WGの活動報告 及び EDIに関する最近のトピックス

- ・標準書（第3版、第4版）の作成について
- ・2024年問題対応状況や適格請求書等保存方式に関するアンケート状況
- ・技術仕様適合認定制度への申請
- ・OAGiミーティングのご報告

3. CEDI-WG 2023年度の活動計画

- 石化協EDI標準(Chem eStandardsとJPCA-BP)の維持管理
石化協EDI標準の維持管理(標準を利用している企業からの標準改定要請対応)
 - ①適格請求書等保存方式(2023/10開始)への対応、及び、
PSTNのIP網化(2024/1)に伴うEDIの対応
→各社の対応状況把握と注意喚起、及び対応への取り組み促進のための啓蒙活動等
 - ②EDIサービス事業者の提供サービスの認定
→各社からの申請内容の確認と認定
 - ③JiEDIAへの参加
→情報収集と必要情報のメンバー各社への共有
- CEDI-WGにて提供しているEDI仕様文書の維持・管理**
 - ・必要に応じて適宜実施
- EDI化の更なる取り組み**
 - ・具体的な対策があれば検討(経産省からの要請など)
 - ・Chem eStandardsとJPCA-BPの今後の方向性検討
⇒具体的な活動案として、次頁に記載。今後CEDI-WG内で検討予定。
- 標準遵守意識の喚起・向上
 - ・EDI入門セミナーの開催(2024年6～7月頃予定)及び、
CEDI/ITフォーラムの開催(2024年5月頃予定)

3. CEDI-WG 2023年度の活動計画

CEDI-WGとして取り組むべき今後の中長期課題を検討しております。2023年度の活動計画として、下記の課題をベースに適切なタイミングで取り組むべきテーマをピックアップしていく予定です。なお、取り組むべきテーマについては、2022年11月からCEDI-WGメンバー会社12社と個別に意見交換を実施し、その議論の中で出た内容を中心に設定しております。

■ 各社との議論で出たテーマ

- インターネットEDIへの移行
- その時々、化学業界として対応しなければならないテーマ
- JPCA-BPとCeSの使い分け
 - JPCA-BP を安定的に使用しているため今後も継続利用したい、メッセージを拡充したい等
 - CeSはレガシーとして残す方向性
- FAXのEDI化検討
- JPCA-BPやCeSは継続利用／JPCA-BPをスタンダードとする案
- EDIそのものの定義の見直し（Webでの連携、API連携やSAPでの連携）
- 業界横断標準の検討（1業界団体だけでは難しいが…）

・CEDiから提供可能なEDI仕様文書一覧

EDI標準	分類	文書形式	文書名	版
JPCA	BP	PDF	石油化学工業協会ビジネスプロトコル標準書 ⇒4版に改訂予定（2023年6月）	3.0.0 (4.0.0)
	資料	PDF	テクニカルレポート一覧	-
CeS	BP	Word Excel	Usage Guidelines～日本におけるChem eStandards 利用指針～	2.1.0
	BP	Excel	物流版 Usage Guidelines	1.0
	資料	Word	Chem eStandards™ V4 のメッセージ概要説明	1.0
	システム	Word Excel	CEDI システム導入ガイド	1.3
	システム	Word	Web-EDI 開発ガイドライン	1.1
(JPCA-BP) インターネットEDI移行		PDF	インターネット E D I 移行の手引き、利用ガイドラインSSL/TLS 方式編	1.1.0
(CeS,JPCA-BP) 適格請求書等保存方式対応		PDF	消費税率改定及び適格請求書等保存方式によるCeS及びJPCA-BPの改訂点	-

※全銀ネットの金融EDI情報標準登録制度が廃止されたため、石化協の金融EDI情報標準(Z-CEDI)は管理を停止いたしました。

ご清聴ありがとうございました

ご質問等ありましたら、以下までご連絡下さい

参考URL

石化協（CEDi関連資料）

<https://www.jpca.or.jp/cedi/>

お問い合わせは、
CEDI-WG（石化協内）
TEL：03-3297-2011